

つがる西北五広域連合
キャリアサポートプログラム

【教育目標】

西北五圏域の中で地域に根差し、急性期から次の療養の場での生活を考えた看護ができる看護師を育成します。

1. 高齢者・認知症患者を理解し適切な対応ができる
2. 次の療養の場、生活の場を視野に入れた看護ケア・支援ができる
3. 看護の対象者及びチーム内、多職種、他施設職員とのコミュニケーションが適切にとれ、リーダーシップが発揮できる
4. へき地医療を含めた西北五地域における医療の特徴が理解でき、必要な看護支援が実践できる

【プログラム】

	急性期（つがる総合病院）	回復期（かなぎ病院・鯉ヶ沢病院）	慢性期（つがる市民診療所・鶴田診療所）
期間	4年	1年 (あるいは2年：本人の希望による)	1年 (1年あるいはつがる総合病院勤務中実習として1週間程度：本人選択)
ねらい	①急性期治療中の標準的なケアができる ②個々の患者の特徴を捉え、その人にあった看護が提供できる ③地域における中核病院・災害拠点病院としての役割が理解できる	①回復期病院の機能と役割が理解、実践できる ②退院後あるいは次の療養の場での生活を見据えた看護が展開できる ③地域包括ケアにおける看護師の役割を理解し他職種と連携できる	①慢性期としての施設の機能と患者の特講を理解し、標準的な看護を提供できる ②終末期における患者・家族の意思決定を支援できる ③他施設や他職種との連携を大切にし切れ目のない看護が提供できる
到達目標	①つがる総合病院における標準的な看護ケアを自立して展開できる ②リーダーシップを学び、リーダーの役割を実践できる ③退院支援について理解し、介入ができる ④災害時における看護師の役割が理解できる ⑤パートナーシップマインドを理解し、違いを認め合い相手を尊重した態度を身につける ⑥実習指導及び新人指導に携わることができる	①患者の意思決定を支援でき、必要とする退院支援・介入ができる ②患者の個別性に合わせ身体機能を維持できるよう、看護ケアを考え実践できる ③在宅医療に必要な社会資源や制度を理解し、活用できる ④他職種と円滑に協働できる ⑤へき地医療患者の特徴を理解し、看護展開できる ⑥急性期からつながる治療ケアを理解し、回復期に必要な看護が提供できる	①慢性期における看護が自立して展開できる ②終末期における患者・家族支援ができる ③在宅療養を支援できる
方法	①新人看護教育システムに則り教育を行う ②クリニカルラダーに沿った研修・評価 ③配属部署の検討 ④PNSのもと、フレッシュパートナーとの協働による新人指導 ⑤e-ラーニング、院内、院外研修 *詳細は備考へ	①クリニカルラダー ②集合研修 ③院外研修 ④OJT ⑤老人保健施設での見学実習 ⑥退院支援や他職種カンファレンスへの参加 ⑦へき地診察への同行	①訪問看護ステーションでの見学実習 ②健診、ワクチン接種など ③看取り患者の対応、ケア実践
評価	①新人看護看護職員技術チェックリスト、看護観、リーダーシップ、ケーススタディレポート等 ②クリニカルラダー能力評価、態度評価 ③目標管理面接	①目標管理面接における目標達成度(人事評価制度による) ②キャリア開発ラダー実践能力評価（ラダーⅢクリア） ③態度評価表 ④研修の受講及び参加率 ⑤看護研究・実践報告への参加	①目標管理面接 ②レポート
備考	レベルごと研修 《ラダーⅠ》 ①看護技術研修 ②レポートの書き方 ③災害看護 緊急対応、情報、食生活支援、看護倫理等の研修 ④サテライト施設訪問実習 ⑤看護の振り返りレポート・プレゼン ⑥新人看護師つどう会 ⑦院外研修への参加 等 《ラダーⅡ-1》 ①リーダーシップ ②他部門訪問 ③S-BAR ④自己のリーダー観レポート・プレゼン 《ラダーⅡ-2》 ①キャリア考察 ②看護研究・プレゼン 《各レベルごと》 ①パートナーシップマインド研修	委員会活動等により組織横断的な取り組みを経験	*期間は本人の選択による。つがる総合病院勤務中に実習として1週間程度、あるいは回復期勤務後1～2年配属。